

傅小石左筆畫集

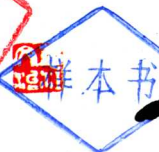
文治



傅小石左筆畫集



文治



200626670

(滬)新登字102號

傅小石左筆畫集

責任編輯：吳光華 裝幀設計：楊利祿

上海人民美術出版社編輯出版發行

上海長樂路672弄33號

全國新華書店經銷·上海市印刷二廠印刷

開本787×1092 1/12 印張 6

1994年5月第1版 1994年5月第1次印刷

印數：0,001—2,000

ISBN 7-5322-1327-7/J·1255 定價：68.00圓

幼聰慧。喜丹青。少
未入才。決義術。字院。
習刀鎗之術。見才氣。
五十年代間。有直言。
為院長。江平。同駐。阿。
才。年。阻止。人。似。猴。后。未。
江。糧。國。軍。院。推。刀。棍。等。
承。父。世。風。雲。又。變。無。故。入。
獄。至。身。殘。鳥。雪。散。而。寬。
平。小。石。不。喜。乘。極。生。慙。
宋。患。腦。病。半。身。度。右。手。
苦。志。堅。如。鋼。左。手。纏。此。
遇。之。物。有。主。者。事。必。成。出。
手。見。神。氣。軍。零。生。動。
事。法。別。致。自。己。面。貌。所。
錢。為。代。之。才。方。

正四年

斷絕的思維斷絕的錢
性慾的在才
一顆完美的心靈

小石弟留念

黃永玉



壬申歲
暮於香港



自序

自幼耳濡目染，使我走上了藝術道路，但我走的不是先父傅抱石在國畫領域裏的輕車熟路，而在1953年考入中央美術學院版畫系，師從美術大師李樺、黃永玉先生。到了1957年，我的路却走不通了，整整20年，失去了藝術創造的權利。在獄中，雖始終未放棄藝術追求，也只能偷偷畫幾筆速寫，並陸續寫下4萬餘字的文稿。1974年在勞改中跌斷左腿，1977年11月保外就醫，才又開始了美術創作。受條件限制，我從版畫改為國畫人物，探索有別於傳統線描人物的以版畫效果與水墨韻味融合的潑墨人物畫。1979年2月，因平反激動而中風，右半身偏癱。同年9月出醫院後，我用僅存的左手，再一次開始了潑墨人物畫創作。

友人把我的潑墨人物畫創作分為：77年11月到79年2月，右筆時期；79年9月到82年底，左筆黑白時期；82年底到86年底，左筆淡彩時期；87年至今為左筆重彩時期。認為這是我的潑墨人物畫的初創期、形成期、成熟期和臻於純熟期。今年開始，我又部分回到黑白潑墨人物畫創作，重新開始更深層次的藝術探索。

1987年5月，在離開中央美院30年後，母校為我舉辦了畫展，使我感慨萬分。十餘年來，我的畫還多次在國內外展出，如83年香港展，90年新加坡展，92年赴美國、澳大利亞、香港展出等，受到國內外人士的喜愛，並得到我的恩師黃永玉先生及劉海粟大師等前輩的贊賞和鼓勵。

今年是我的花甲之年，這本畫集的出版是我十餘年來艱苦探索的一個小結，也是我潑墨人物畫創作的一個新的起點。劉海粟大師在《勉小石》一文中說：“小石並不滿足，脫去西畫束縛，發展自己個性，他還要向高峰攀登！”這是前輩對我的勉勵，也是我今後的藝術追求。

值得一提的是，十餘年來，我能在藝術上拼搏，是我妻子辛勤勞累所支撐的，這本畫集的出版也是與我妻子的努力分不開的。當然，我也要感謝上海人民美術出版社關懷本書出版的領導和編輯、攝影等有關的先生們，在我60歲時送我的這份厚禮。

我還要感謝恩師黃永玉先生對我的勉勵和亞明、宋文治先生的盛贊，以及多年來關心、愛護我的朋友們。

傅小石 一九九二年十二月

自序

見よう見まねで私は美術の道へ進んだが、私は父傅抱石の中國畫をそのまま繼承したのでは無くて、1953年に北京中央美術學院版畫科に入學、美術の大家李樺先生と黃永玉先生に師事し、薰陶を受けた。1957年に極左派の迫害で20年間美術創作を中斷され、不自由な獄中生活の身ではあつながら、美術家にはる宿願を てることなく、こつそりとスケッチを続け4萬余字の記録を書いた。

1974年獄中での労働の際に左脚を骨折、1977年11月に保釋治療を受け再び美術の創作を始めたが、種々の原由により止むなく版畫を中國畫に變え、伝統的な線による人物版畫技法と水墨技法を融合した。“平反”(是正)政策により、私に對する“以前の判決は誤さであつた”の宣告を聞き、感動の余り中風に倒れ入院し、同年9月右半身不隨の身で退院後、左手で潑墨人物畫の創作を始めた、これは私の再スタートであり試練でもある。

有る友人は、私の潑墨人物畫創作を下記の四段階に區分けた。即ち、1977年11月から1979年2月の右筆畫時期、1979年9月から1982年來の左筆白黒畫時期、1982年末から1986年末の左筆淡色彩畫時期、1987年からは濃色彩畫時期であり、私の潑墨人物畫の思索期から形成期、成熟期へと見做してねる。

私は今年から再度白黒潑墨人物畫の美術をより一層深く探究せんが爲に努力している。

1987年5月私は母校中央美術學院を離れて30年後、母校は私の爲に畫展を開催して下され感慨深く、10余年來この方、私の繪は國內外で幾度か展示された、1983年はホンコンで、1990年シンガポールで、1992年にはアメリカ、オーストラリア、ホンコンで展示、本國及び外國方がたの好評を博し、殊に恩師黃永玉先生と劉海粟大師諸先輩の賞賛と激勵を戴いた。

今年は私の花甲年で、この度出版した畫集は私の10余年來の探索の纏めであり、潑墨人物畫創作の新起點でもある。

劉海粟大師は《勉小石》(小石を勉勵する)文章の中で“小石は現狀に満足することなく、洋畫の束縛から脱皮し自己の個性で以て益々の發展と向上に邁進するであろう”と評され、これは先輩が私に對する勉勵であり、私のこれからの進むべき道でもあろう。

なお、私がこの10余年來繪畫の創作に精勵出來えたことは行動不自由な私を世話し、渉外的な用事をも一括足勞する家内に感謝の意を追述したい。

今回の畫集の出版は上海人民美術出版社の社長始め、編集、撮影擔當方々の御助力により完成され、これは私の還歷の年への最良のプレゼントであるものと欣快の至りと存じ、恩師黃永玉先生の御勉勵と亞明、宋文治先生の賞賛と長年支持して下さつた方がたに、ここに心から厚くお禮申し上げる次第であります。

傅小石 1992年12月

通譯: 謝東生

目 録

- 1 五虎上將
五人の虎將
- 2 出行圖
旅に出を
- 3 憶江南
江南の思い出
- 4 陸放翁
陸游
- 5 山陰公主
山陰の公主
- 6 琵琶天女
琵琶をいく天女
- 7 姐妹情
姉妹のなむけ
- 8 牧趣圖
放牧の趣味
- 9 嬉水圖
水を戯れる
- 10 杜秋娘
杜秋娘
- 11 輕歌曼舞
優美な歌と踊り
- 12 春江花月夜
春江花月の夜
- 13 八仙過海
海を渡す八仙
- 14 鍾馗
鍾馗
- 15 耍猴圖
猿を使う
- 16 賣炭翁
炭を續る老人
- 17 燕語聲聲
燕の聲々
- 18 池趣圖
池の趣味
- 19 寒山拾得
寒山と拾得
- 20 九子母
九人の子供の母
- 21 劉海戲金蟾
金蟾を戯れる劉海
- 22 神童李賀
李賀という神童
- 23 寒塘渡鶴影
寒い池を渡す鶴の映像
- 24 黄山觀瀑圖
黄山の滝を觀賞する
- 25 消夏圖
夏を消閑する
- 26 對奕圖
碁を對局する
- 27 聞鷄起舞圖
鷄の聲を聞いて踊りを起す
- 28 日本民間舞
日本の民間躍り
- 29 僧推月下門
月下の門を推敲する
- 30 唐代詩人張志和
張志和

- 31 胡璇舞
コセンという踊り
- 32 和平女神圖
平和の女神
- 33 漢代選后圖
漢代のきさまを選ぶ
- 34 桃花源
桃花のりくえ
- 35 踢毬圖
羽根をけつて遊ぶ
- 36 時遷
時遷
- 37 對牛彈琴圖
牛に對して琴を弾く
- 38 醉僧圖
醉僧
- 39 詩思圖
詩想
- 40 王羲之愛鵝圖
鵝を愛する王羲之
- 41 觀瀑圖
滝を觀賞する
- 42 幽思圖
思いにふける
- 43 洛神
洛神
- 44 鬥畫圖
繪畫の比べ合う
- 45 殘酷的過去——水災
殘酷なかこ——水害
- 46 殘酷的過去——庸醫
殘酷なかこ——やぶ醫者
- 47 雨趣
雨の趣味
- 48 草原民兵舞
草原民兵の踊り
- 49 人物(仿父)
人物
- 50 瀟瀟暮雨(仿父)
しよぼつく暮雨
- 51 天女散花
花を散潑する天女
- 52 觀音
觀音菩薩
- 53 董小宛
董小宛
- 54 張果老倒騎驢
張果老が驢に倒騎する
- 55 鍾馗嫁妹
鍾馗が妹を嫁ぐ
- 56 盲人諸葛暗(昆曲)
盲人諸葛暗
- 57 塞上曲
塞上曲
- 58 惜春試筆
惜春が繪を試作する
- 59 李商隱洛陽游
李商隱が洛に遊ぶ
- 60 濟公
濟公



1 五虎上將
五人の虎將



2 出行圖
旅に出を



3 憶江南
江南の思い出





5 山陰公主
山陰の公主

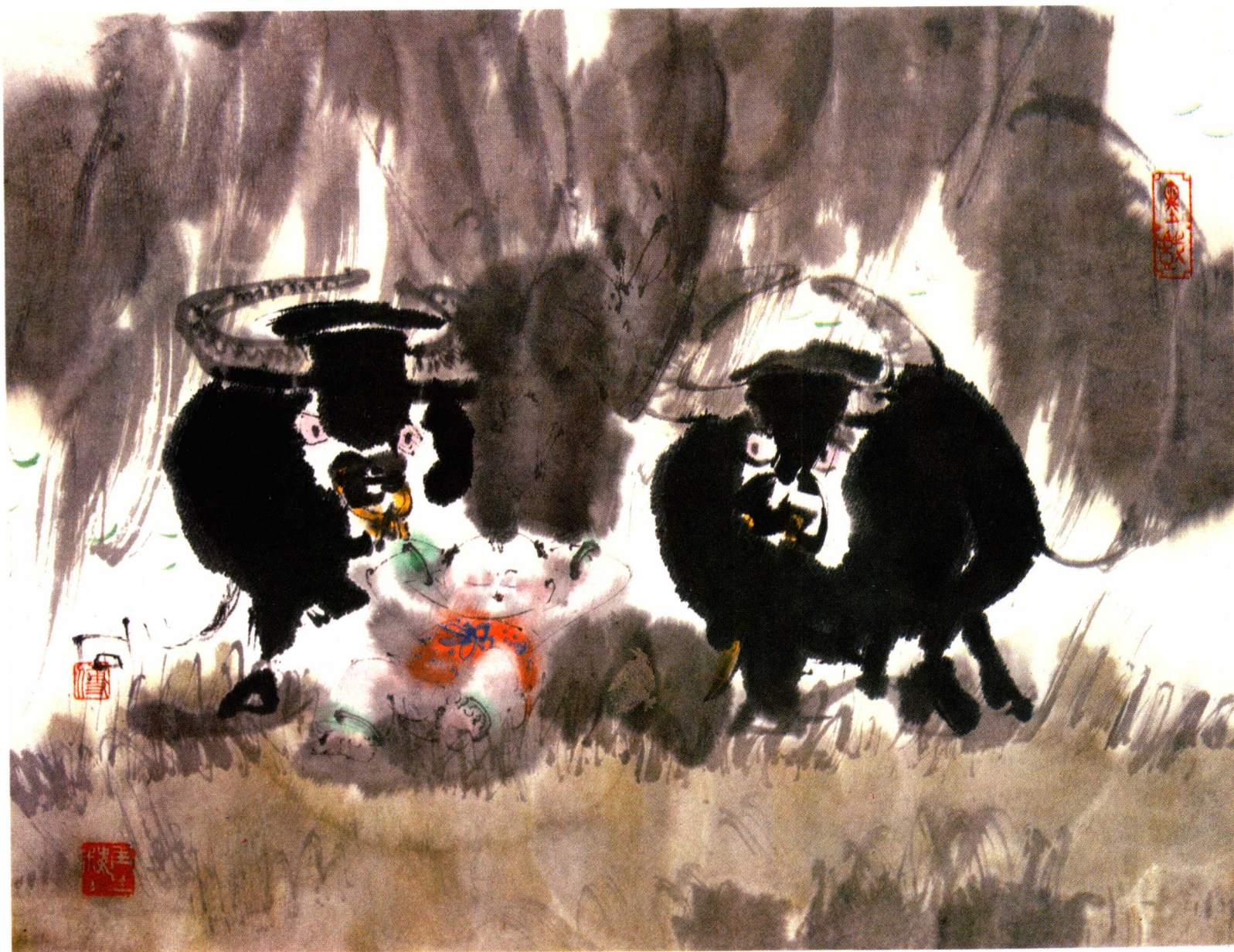
62567



6 琵琶天女
琵琶をいく天女



7 姐妹情
姊妹のなむけ



8 牧趣圖
放牧の趣味